

平成26年度 市民公開講座

# こどものアレルギー疾患 治療の最前線

報告書

日時 平成26年9月7日(日)  
13:30~16:30

場所 (独) 国立成育医療研究センター講堂(1階)

## プログラム

Door Open 12:30~13:30

13:30~13:40 開会挨拶 柳澤 正義 公益財団法人小児医学研究振興財団理事長

座長 河野 陽一 千葉労災病院長

### 13:40~14:10 ① こどものアトピー性皮膚炎

—副作用のない外用薬の効果的な使い方—

●大矢 幸弘 国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科医長

### 14:10~14:40 ② こどもの喘息 —見分け方と最新の対処法—

●勝沼 俊雄 東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科准教授

### 14:40~15:10 ③ 食物アレルギー —最近の取り組みと食事の進め方—

●今井 孝成 昭和大学医学部小児科学講座講師

15:10~15:25 休憩

### 15:25~16:25 ④ パネルディスカッション

—事前にいただいているご質問を対象に行います—

16:25~16:30 閉会挨拶 五十嵐 隆 独立行政法人国立成育医療研究センター理事長・総長

主催 (公財)小児医学研究振興財団 共催 (公社)日本小児科学会 (独)国立成育医療研究センター

後援 厚生労働省 (一社)日本小児科医会 (一社)日本保育園保健協議会 (公社)日本小児保健協会 (公財)母子衛生研究会 (一社)世田谷区医師会 (公社)日本産婦人科医会 (株)日経BP

協賛 アストラゼネカ(株) MSD(株) 小野薬品工業(株) サノフィ(株) 田辺三菱製薬(株) 帝人ファーマ(株) マルホ(株)

# 1

## こどものアトピー性皮膚炎

—副作用のない外用薬の効果的な使い方—



大矢 幸弘

国立成育医療研究センター  
生体防御系内科アレルギー科医長

### 略歴

昭和60年 名古屋大学医学部卒業 同年半田市立半田病院研修医  
昭和61年 名古屋大学医学部小児科入局(昭和62年-平成2年大学院)  
平成 3年 国立名古屋病院小児科医員(平成6年ハーバード心身医学研究所)  
平成 7年 国立小児病院アレルギー科医員  
(平成9年-平成14年ロンドン大学聖ジョージ医学校公衆衛生科学部上級研究員併任)  
平成14年 国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科医長  
平成23年 (独立行政法人)国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科医長  
環境省エコチル調査事業メディカルサポートセンター特任部長併任  
現在に至る

### 所属学会など

日本アレルギー学会 指導医 アトピー性皮膚炎診療ガイドライン作成委員  
日本小児アレルギー学会 評議員 ガイドライン作成委員(気管支喘息、食物アレルギー)  
日本健康心理学会 理事 実践研究支援委員、機関誌編集委員

# 2

## こどもの喘息

—見分け方と最新の対処法—



勝沼 俊雄

東京慈恵会医科大学附属  
第三病院小児科准教授

### 略歴

昭和60年 東京慈恵会医科大学卒業  
昭和62年 国立小児病院アレルギー科レジデント  
平成 5年 学位(医学博士)取得  
平成 6年 国立小児病院アレルギー科医員  
(厚生技官)  
平成 7年 英国立心肺研究所胸部疾患部門留学  
(Peter J Barnes教授)  
平成 9年 帰国  
平成13年 東京慈恵会医科大学小児科学講座復帰  
(有給助手)  
平成13年 同上講師  
平成19年 同上准教授  
平成22年 東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科  
准教授、診療部長  
現在に至る

### 所属学会など

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005・  
2008・2012作成委員  
平成20年 日本小児アレルギー学会理事  
平成23年 日本アレルギー学会専門医制度委員長  
平成25年 日本アレルギー学会長期計画委員長

# 3

## 食物アレルギー

—最近の取り組みと食事の進め方—



今井 孝成

昭和大学医学部小児科学講座講師

### 略歴

平成 8年3月 東京慈恵会医科大学医学部 卒業  
平成 8年5月 昭和大学医学部 小児科学講座 入局  
平成16年7月 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科  
平成23年4月 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科 医長  
平成24年4月 昭和大学医学部 小児科学講座 講師  
現在に至る

### 所属学会など

医学博士、日本小児科学会(専門医)、日本アレルギー学会(指導医、代議員)、日本小児アレルギー学会  
(評議員)

## ステロイド外用薬の落とし穴

アトピー性皮膚炎の治療に関する国内外のガイドライン全てが、ステロイド外用薬を第1選択薬として推奨しています。にもかかわらず、ステロイド外用薬に関しては、副作用を心配して、あまり使いたくないという患者さんが多いのはなぜでしょうか。

全身に作用する飲み薬や注射薬のステロイドと違って、塗り薬のステロイド外用薬の副作用は極めて少ないのですが、ここに落とし穴があります。医師は安易に処方し、患者さんはいい加減な使い方をするというパターンが多くなってしまふのです。

## なぜ治らないのか

患者さんからよく聞く言葉は、「ステロイドを使ったが治らなかった。反ってアトピー性皮膚炎が悪化した」というものです。このような経験をされた患者さんの100%がステロイド外用薬の正しい使い方をしていませんでした。しかし、患者さんを責めることはできません。だれも医師から正しい使い方を指導されていなかったからです。でも、医師を責めるわけにもいかないのです。

## 喘息の見分け方

子どもの喘息診断は容易ではありませんが、いくつかのコツを組み合わせれば見分けることが可能です。

まずは遺伝・体質です。次の条件が子どもさんにあれば喘息の確率が増します。

①親の喘息、②本人のアトピー性皮膚炎、③本人の食物アレルギー、④血液検査や皮膚テストでアレルギーが証明される(ダニ、ハウスダスト、花粉、動物、カビ、食物)。

次に気道過敏性です。運動や冷気の吸入で咳き込んだり、苦しくなるような状態を気道過敏性と呼びます。

以上があれば喘息の疑いが強まります。

次に「喘息発作かどうか」を見分けるコツを紹介します。①咳がいつもより強くて眠れない、②ヒューヒュー、ゼーゼーといった呼吸音(ぜんめい)に肩呼吸(吸気時に肩が上がる)、陥没呼吸(吸気時に鎖骨の上や肋骨の間が凹む)を伴う、③咳やぜんめいが強く横になれない。このような状況では、夜中でも病院を受診すべきです。

## 1. 正しい診断

食物経口負荷試験(以下負荷試験)を臨床経験すればするほど、我々は特異的IgE値などの検査の限界を感じます。しかし一方で負荷試験自体のリスクもまた強く感じます。このため、食物アレルギー診断の基本は負荷試験に軸足を置き、医療機関での実施を大前提とするべきであると強調したいと思います。

## 2. 必要最小限の除去

必要最小限の除去とは“食べてはいけないものだけを除去し、それもできるだけ食べる”ということです。一見すると矛盾していますが、以下の通りです。

“食べてはいけないものだけを除去する”とは、当たり前なのですが、食べてもよいものを除去していることが少なくありません。それは、診断が誤っていたり、不必要なセット除去等が行われていたりしているからにほかなりません。

なぜなら、1日あたり欧米に較べて数倍の患者さんを診なくてはいけない日本の外来では、患者さんに説明や指導をする時間を充分にとれないからです。

## アトピー性皮膚炎を治すコツ

アトピー性皮膚炎は高額な自費診療でなければ治らないような病気ではなく、保険診療の範囲内の薬で、痒みのない正常な皮膚に戻すことができる病気です。ただし、患者さんは、その治療のコツをつかむために少し勉強が必要です。外来でコツをつかむことができない方は入院して教えてもらうとよいでしょう。大切なポイントは2つあります。どの場所にもどの強さの薬をどのように何日塗れば皮膚がつるつるになるのか体験すること。これが第一段階ですが、大切なのはそのあとです。ステロイドの副作用を回避しつつ、きれいになった皮膚状態を維持するためにはどのようにすればよいのかを、講演ではお話ししたいと思います。

参考文献 国立成育医療研究センターBookシリーズ「こどものアレルギー」  
メディカルトリビューン社 2013年11月発行

## 喘息への最新対処法

喘息児の気管支粘膜は「慢性炎症」という特徴を有しています。このため抗炎症薬(吸入ステロイド、ロイコトリエン受容体拮抗薬が代表的)を用いた長期管理を行います。喘息が軽症化した場合、カゼの時や少し具合の悪い時だけステロイド吸入を行う「間欠投与」という方法が注目されています。逆に複数の薬を用いても十分な改善が得られない重症例には抗IgE抗体治療が行われ劇的な効果が示されています。

子どもの喘息では、原因としてアレルギーの関与が強いいため、環境調整が有効です。原因となるダニ、ホコリ、動物抗原、そして受動喫煙を避けることにより喘息が良くなります。ごく最近、一部の空気清浄器に喘息改善効果が認められました。

## 最後に

喘息といわれても「心配ご無用」です。喘息のサインを見分け、医者とともに適正に対処すればお子さんの喘息は必ず良くなります！

“できるだけ食べる”とは、かつて除去とは基本的には完全除去を指していましたが、近年は一定量以上を除去する、逆に言えば一定以下の量は食べて良いとする部分除去が受け入れられるようになってきました。我々は経口免疫療法の経験から、原因食物を食べることは症状を悪化させることなく、治療に繋がることを見出してきました。

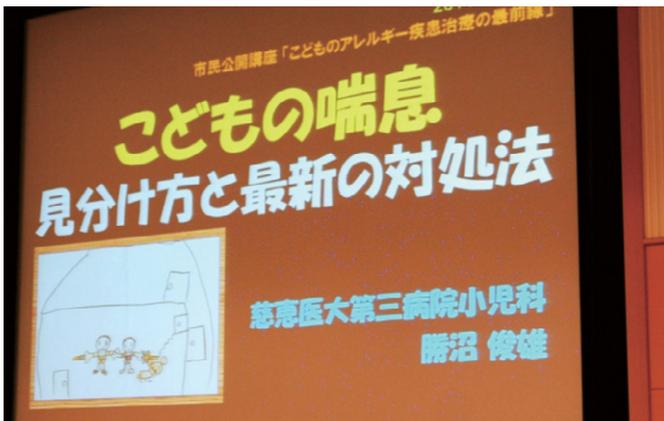
## 3. 経口免疫療法

一部の重篤な食物アレルギー患児は、自然経過の中で耐性を獲得する(食べられるようになる)ことが叶いません。こうした患児達に、経口免疫療法が試みられます。その効果は明らかですが、労力とストレスは想像を超えて大きく、またリスクも伴います。誤解を含めて、安易に経口免疫療法に取り組む風潮がありますが、十分な説明を受け、理解と覚悟を決め、また安全性を担保できた上で、本来は慎重に行われるべきものです。

◆ こどものアトピー性皮膚炎 — 副作用の出ない外用薬の効果的な使い方 — (大矢 幸弘)



◆ こどもの喘息 — 見分け方と最新の対処法 — (勝沼 俊雄)



◆ 食物アレルギー — 最新の取り組みと食事の進め方 — (今井 孝成)



よくあるステロイド外用薬の副作用に関する誤解

- ステロイドを塗ると黒くなる?**

ステロイドにはメラニン色素の活動を抑制し、血管を収縮する作用があるので白くなります。湿疹が癒くと炎症がひどくなり、段々黒くなります。ステロイドできれいな皮膚にすれば新陳代謝で次第に本来の色の皮膚に戻ってきます。
- ステロイドが体に蓄積される?**

数日で皮膚や体からは分解されてなくなります。もしそうなら、健康者でも蓄積されることとなります。
- ステロイドを使うとリバウンドを起こして一生やめられない?**

ステロイドを塗って少しきれいになったところで中止して悪化したことをリバウンドを言っている人がほとんどです。これはリバウンドではなく、単にやめて悪化しただけです。



ステロイドの“本当の”副作用

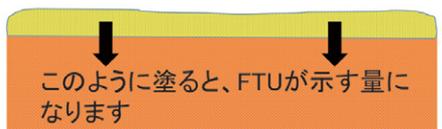
<p><b>外用薬(めりぐすり)</b> 副作用は皮膚だけ(例外あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皮膚が薄くなる (思春期には皮膚線索に注意)</li> <li>塗った場所が毛深くなる(部分的多毛)</li> <li>赤ら顔(毛細血管の拡張)</li> <li>緑内障(目の周囲の塗布)</li> </ul> <p>タクロリムス軟膏にはこのような副作用はありません</p>	<p><b>内服薬(のみぐすり)</b> 全身に作用するので慎重に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>骨が伸びない(成長抑制)</li> <li>感染に弱くなる(免疫抑制)</li> <li>全身が毛深くなる(多毛)</li> <li>顔が赤い(満月様顔貌)</li> <li>太る(肥満)</li> <li>胃潰瘍</li> <li>血糖値が上がる(糖尿病)</li> <li>白内障、緑内障</li> </ul>
--	--

どれも長期間使用したときに起こるものです。

外用薬塗布時の大切なポイント

擦り込んではいけません

薄皮を覆うようになるべく均一に塗った方がよい



吸入ステロイド

こんな風に思うことはありませんか?

- 「ステロイドって怖い気がする」
- 「副作用が強いんでしょ?」
- 「できるだけ早く止めたい」

皆さんの心配は同じです

ぜんそくで苦勞させたくない  
クシリ漬けにたくない  
ならば薬以外で改善の  
努力をしませんか?

Q「喘息って治りますか?」  
「クシリは一生涯続けなくてはならないのですか?」

→ A タバコの煙がいっぱいの家  
ダニがいっぱいの家

環境の善し悪しで重症度や炎症レベルが左右される可能性があります。まずは親としてできることをしっかり行い、あとは医者をして頂く。そして一緒に頑張るしかない!

Barnes PJ, ERJ 2005; 25: 552-563

ステロイドの効果が低下する!

食物アレルギーの診断は

食物負荷試験が基本です。

抗原特異的IgE値の有(生)

クラス	判定基準
6	+++
5	++
4	+ 17.5-50
3	± 3.5-17.5
1	± 0.35-0.7
0	- ≤0.34

診断  
食物アレルギーではない

特異的IgE値に対する誤解

主要食品ごとの誤解と少量摂取に関して

	除去の必要なし	重症児に一部除去の必要あり	除去
鶏卵	鶏肉、魚卵、卵殻カルシウム		
牛乳	牛内、乳糖カルシウム、乳糖ナトリウム、乳化剤、カカオバター、乳酸菌	乳糖	乳酸菌飲料
小麦	他の麦類、醤油、麦芽、麦芽糖、味噌(麦芽増以外)	許	デュラムセモリナ粉
大豆	他の豆類、大豆油	醤油、味噌	
ごま		ごま油	
魚	※色で分けず	だし	
肉	※肉ごとに診断	肉エキス	

経口免疫療法(OMIT)の注意点

- 研究的取り組みです。
- 経過中アレルギー症状が現れ、強い症状になることもあります。
- 経過は年余に渡ります。
- 治療効果は確約できません。

→ 説明と同意、自覚と忍耐

参加申込み者からの事前質問に回答する形式で行われました。



【来場者アンケートより】

- 質疑応答の形式でよい進行をして頂き、講演内容の理解を深めることができた。
- 一般的に疑問に思っていることについて、先生の見解を聞いて参考になった。
- 同じ悩みの質問が取り上げられて、参考になった。

【回答 一部抜粋】

河野：お母様方がよく心配される妊娠中や授乳中の食事制限は、しなくてよろしいですね。

大矢：妊娠中、授乳中の食事制限はしないでください。むしろお子さんが標準より小さくなるので有害だと言われています。妊娠中の食物制限は効果がないばかりか、むしろ有害だと言われているので、なさらないほうが良いと思います。



妊娠中からできる子どものアトピー、  
食物アレルギー予防は何かありますか？  
また、生まれてからできる予防法は  
ありますか。



〇歳の喘息児です。喘息の薬  
(○●、△▽)の服用、吸入を  
続けていますが注意すべき副作  
用や成長への影響はないので  
しょうか。

【回答 一部抜粋】

勝沼：吸入ステロイドは、結論を申し上げますと、日本のガイドラインに出ているような使い方を用いる限りは心配ないだろうということです。

しっかりとガイドラインどおりに、こどもの喘息は治せるという意気込みで診てくれるお医者さんの下でフォローされる限り、それに準じた治療内容が施される限り、影響はないと考えていいと思います。

河野：正しく使えば副作用は心配ないということですね。

【回答 一部抜粋】

今井：患者さんが完全除去と言っておきながら、お菓子を食べているという時点で完全除去ではないので、まずそこを注意します。(笑)……(途中略)お子さんの血液検査の値をもう一度見直して、もしオボムコイドが検査されていないのであれば、ぜひ主治医の先生にってもらって、その格差を見ながら鶏卵アレルギーの負荷試験のタイミングを見計らっていただくといいと思います。

河野：いずれにしてもタイミング等々を含めて、勝手にやらないで、きちんとした医師にかかるということでもよろしいですね。いまのご説明は、やはり医師の指導の下でやってほしいということですね。



卵アレルギーです。  
乳児期に卵アレルギーが分かり、その後  
9ヶ月間完全除去しています。卵を使った  
お菓子では症状が出ない時もあります。  
どのようなタイミングで、どういったものから  
食べさせればよいですか。

## 保護者の感じるアレルギーの疑問

### アトピー性皮膚炎

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**3**  
塗り薬はいつまで塗り続けたらよいのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**31**  
妊娠中からできる子どものアトピー、食物アレルギー予防は何かありますか？  
また、生まれてからできる予防法はありますか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**2**  
アトピー性皮膚炎は、皮膚科、小児科、内科、アレルギー科、といろいろな診療科の医師が診ていますが、どの科にかかるのがよいのでしょうか。  
また、自分の子どもはひどく重症ではないので、成育のような大きな病院ではなく、地元の開業医に診てもらっているのですが、なかなか治らないので、やはり大きな病院に診てもらったほうがよいのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**4**  
保湿剤は色々種類がありますが、どのようなものを選んだらよいのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**5**  
常に皮膚炎があつてかゆみがあると、心身の成長過程に影響はないのでしょうか。

### 喘息

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**6**  
喘息は遺伝するのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**7**  
○歳の喘息児です。喘息の薬（○●、△▽）の服用、吸入を続けていますが注意すべき副作用や成長への影響はないのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**8**  
季節の変わり目に朝晩咳き込みが激しくなり、通院することがありますが、喘息の診断はされていません。  
ある程度の年齢にならないと喘息の診断はつかないのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**9**  
喘息によいスポーツはありますか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**10**  
親の喫煙と子どものアレルギー発症は関係ありますか。

### 食物アレルギー

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**11**  
卵アレルギーです。  
乳児期に卵アレルギーが分かり、その後9ヶ月間完全除去しています。卵を使ったお菓子では症状が出ない時もあります。  
どのようなタイミングで、どういったものから食べさせればよいですか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**12**  
複数の食物アレルギーがあります。  
血液検査で数値が下がった場合や肌の調子がよい時などに、親の判断で少量摂取を始めることは問題ないのでしょうか。  
また、どれから開始するか等の基準はありますか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**13**  
3歳の子どもがピーナッツで突然アレルギー反応を起こし、検査の結果陽性でした。アーモンドも少し陽性反応が出ましたが、今までかなり食べていました。  
ほかのナッツ類も除去したほうがよいのでしょうか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**14**  
母乳育児は食物アレルギーに関係しますか。

市民公開講座「こどものアレルギー疾患治療の最前線」  
パネルディスカッション

**15**  
食物アレルギーで、成長に伴い自然に治る子と小学生以降になっても治らない子は何が違うのでしょうか。  
ハウスダストなど何か他に原因があるのでしょうか。

# 講座を終えて



## ◆ 市民公開講座開催にあたって

アレルギーの患者さんは非常に多く、一方、情報が氾濫し、一部には医療への不信感も渦まいています。今回の市民公開講座についても関心は高く、多数のお申込みをいただきながら、会場の制約からお断りせざるを得なかった方々には大変申し訳なく思っております。

3名の講師による講演とパネルディスカッションは、いずれも大変分かりやすく、参加者から高い評価をいただくことができました。講師の先生方、また、本講座の企画立案と当日の座長をお務めいただいた河野陽一先生には心から感謝申し上げます。

公益財団法人小児医学研究振興財団  
理事長 柳澤 正義

## ◆ 優れた医療は、優れた研究に支えられている

(閉会挨拶より抜粋)

「小児医学研究振興財団の一番基本的な目的は小児医学研究を支援することですが、皆さんがお受けになっている優れた医療は、優れた研究に支えられていることも、是非知っていただきたいと思います。」

公益社団法人日本小児科学会会長 五十嵐 隆  
公益財団法人小児医学研究振興財団評議員

## アンケート結果

### ● アトピー性皮膚炎

- ・ ステロイドに対して、丁寧に説明していただき、偏見が薄れた。
- ・ 薬のやめ方、保湿剤との切り替えがよく分かった。
- ・ ステロイド剤の役割と保湿の重要性を理解しました。
- ・ ステロイドを使わず、食事指導のみの病院に通っていましたが、ステロイドを適切に使用し、食べられる物、必要最低限の食事除去にしていけないといけなかったと思いました。

### ● 喘息

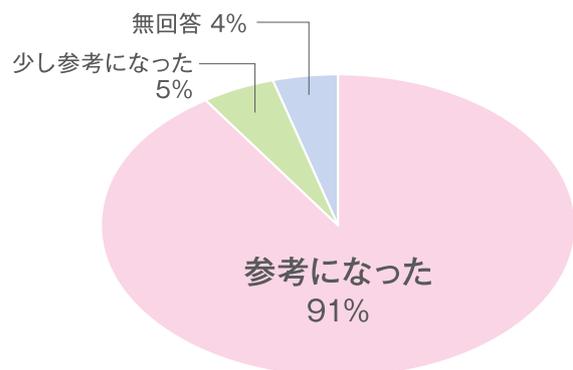
- ・ 喘息については今まで講演を聞いたことがなかったので、すべて参考になりました。事例が分かりやすかったです。
- ・ 環境指導(例:ダニ、煙草)をして頂けて、家族の理解が得られそうです。
- ・ アレルギーを持つ親の気持ちを先生が分かってくださるということに信頼感を感じました。
- ・ 具体的なチェックポイント・薬の名前など、ご教示頂けたので参考になりました。

### ● 食物アレルギー

- ・ 様々な情報がある中、どれをどう信じればよいか分からなかったが、整理することができました。
- ・ 経口免疫療法の実績が分かり、良かったです。

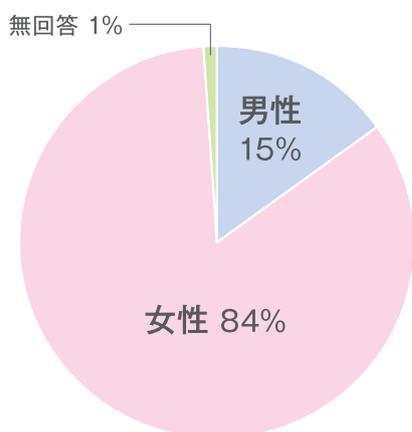
- ・ 3才、1才の2人の息子が卵アレルギー。自分で食べさせてアレルギーが出たので全除去していたが、すぐに病院に相談しようと思いました。
- ・ 子供が経口免疫療法を受けていますが、安易に受けるものではないというご説明、念押しはとても大事だと思いました。親子の忍耐と努力、先生との信頼関係がなければできないことだと思います。
- ・ 正に、15年前の治療で今だに卵アレルギーなので、先生のお話はとても参考になりました。

### 本日の講座は参考になりましたか

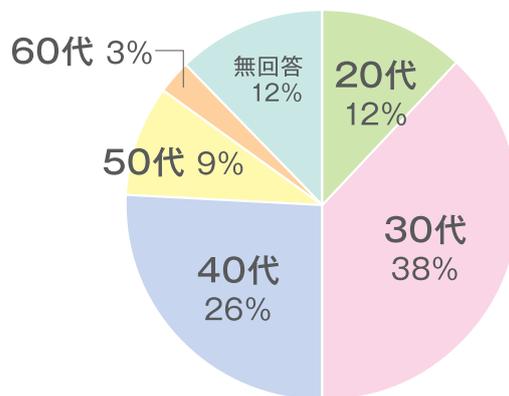


## アンケート結果

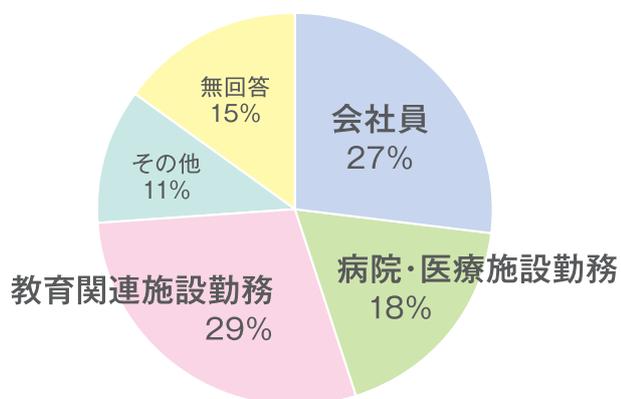
### 性別



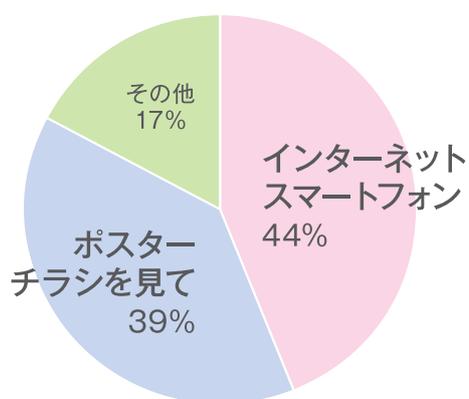
### 年齢



### 職業



### この講座を何でお知りになりましたか



### この講座にご参加された理由をお聞かせください

子どものアレルギーの知識を深めたかった 89%

30% 幼児・学童と接する仕事をしているので、質問に対応するための知識を深めたかった

その他 1%

### 本日の講座で特に参考になったプログラムはどれですか

講演「こどものアトピー性皮膚炎」 61%

講演「こどもの喘息」 47%

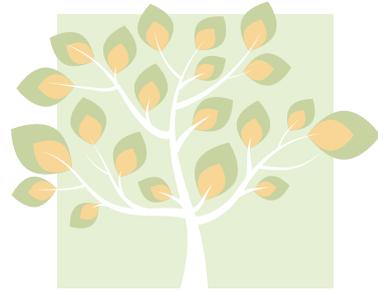
講演「食物アレルギー」 56%

パネルディスカッション 44%

## アンケート結果

### 【来場者アンケート(自由記述)】

- 市民講座のため、専門的な研修より分かりやすく、ポイントがよく理解できた。
- 実践的で不安に思っていたことが解消された。
- ステロイドに関して「怖い」という抽象的なイメージしかなかったが、医師の指示に従って服用すれば、短期間で改善されることが分かった。
- 食物アレルギーは基本完全除去だと思っていた。IgE検査結果が全てではないと初めて知った。アトピーには保湿が大切なのだを知ることができた。ネットにあふれる間違っただ情報に照らし合わせて、右往左往することもあったが、こうして専門家が最新の状況を元に講演をしてくれると、何が間違っただいて何が合っているのかが分かり、安心できる。
- 専門医の先生に「適切に治療すれば治る」と言われると、とても安心し、うれしいですね。ありがとうございました。
- 3つの関連について知識が深まった。一般の人でも分かるように丁寧に解説していただき、保護者への説明に役立った。



### 【本市民公開講座関連メディア情報】

本講座の開催に関連して、講師：大矢幸弘先生、勝沼俊雄先生、今井孝成先生による記事が、日経DUAL(日経BP社：働くパパとママの情報サイト)に掲載されております。

日経DUAL <http://dual.nikkei.co.jp/>

- ◆ アトピー性皮膚炎 (大矢 幸弘 先生)  
【検索ワード】「アトピー性皮膚炎 ステロイドを正しく使って完治」
- ◆ 喘息 (勝沼 俊雄 先生)  
【検索ワード】「ぜんそくは適切な診断と環境整備でコントロールできる」
- ◆ 食物アレルギー (今井 孝成 先生)  
【検索ワード】「食物アレルギー 最新治療法&園や学校での注意点」

## 賛助会員ご加入のお願い

当財団は、小児医学研究を支援するため、  
日本小児科学会創立100周年記念事業の一環として平成20年に設立されました。  
活動は日本小児科学会と密接に連携して行っております。  
小児科医・小児医学研究者の研究助成・海外留学助成・優秀論文表彰及び  
市民公開講座の開催は、会員の皆様からの賛助会費で賄われており、  
多くの方々のご支援をお願い申し上げます。  
ご加入については、事務局にお申し出頂ければ「加入申込書」を送付させていただきます。  
よろしくお願い申し上げます。

## 賛助会費は、所得控除または 税額控除を受けられます。

- 個人：1口／年10,000円
- 法人：1口／年100,000円
- 申込み・問い合わせ先

(公財)小児医学研究振興財団事務局

〒110-0015 東京都台東区東上野3-32-2 廣瀬ビル4B

TEL:03-5818-2601 FAX:03-5818-2602

e-mail:shouni-iken@jfpedres.or.jp

URL:<http://www.jfpedres.or.jp/>

<http://www.jfpedres.or.jp/>

小児医学研究振興財団

検索 



公益財団法人 小児医学研究振興財団

〒110-0015 東京都台東区東上野3-32-2 廣瀬ビル4B  
TEL:03-5818-2601 FAX:03-5818-2601  
E-mail:shouni-iken@jfpedres.or.jp

